

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3553		
科目名	比較宗教・文化論		
担当教員	上野山 晃弘		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 4		
講義室	1501	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門・危機管理		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1－E 〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 D P 4－I 〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 C1 倫理的思考・社会認識（10%） E1 学識と専門技能（50%） G1 状況把握（10%） I1 理解・分析と読解（30%）		
教員の実務経験	特にありません。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期		
科目概要・キーワード	国際社会における危機（戦争や紛争、テロリズムなど）の原因の一つとして、民族や宗教などの文化的側面における問題が挙げられます。こうした民族問題や宗教問題を比較宗教・文化論の観点から考察し、国際紛争を解決するための糸口を探索します。実際に世界で発生している民族問題や宗教問題に焦点をあて、具体的な事例を取り上げながら歴史的・文化論的なアプローチによって問題を考察し、国際平和への道を探索します。 授業形態は講義形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型）を取り入れます。 （キーワード）国際社会における危機（民族・宗教問題等）・世界の宗教文化の多様性・宗教文化間の相互理解		
授業の趣旨	■副題 この授業では、多様化し複雑化する国際社会の危機に対して「比較宗教・文化論」という観点からアプローチし、将来のグローバルセキュリティのあり方や可能性を探索します。 ■授業の目的 日本大学の自主創造の理念にもとづいて、世界の宗教・文化およびその歴史的背景に関する基本的な学識を修得した上で、（現代生じている民族問題や宗教問題等の）国際社会の危機について学問的に分析・考察し、国際的な相互理解の可能性を探索できるようになることを目的とします。 ■授業のポイント 講義・グループワーク・リアクションペーパーへの取り組みを通して、比較宗教・文化論に関する専門的な学識と思考法の修得をめざします。		

総合到達目標	■危機管理学（グローバルセキュリティ領域）における「学識・専門技能」、「理解力・分析力」を総合的に修得するために、世界の宗教・文化に関する知識を修得した上で、国際社会の危機に対する問題意識を深め、問題解決に向けて比較宗教・文化論的な観点から自らの考えを形成できるようになる。 ・世界の宗教・文化に関する知識を修得できる（第1回～第15回）。 ・テキストを読解し、解釈できる（第2回～第12回）。 ・他の学生と意見交換（対話）を行うことができる（第2回～第12回、第15回）。 ・自らの考えを文章として論理的に表現できる（第2回～第15回）。 ・国際社会における危機（とくに民族や宗教に関連する諸問題）に深い関心をもち、それを比較宗教・文化論な観点から（学問的・客観的に）考察できる（第2回～第15回）。	
成績評価方法	■リアクションペーパー15回（45%）：適用ルーブリック C1・E1・G1・I1 （評価の観点）授業内容の理解力、考察力、論理的な文章力をはかります。 （フィードバック方法）授業時間中に講評・解説を行います。 ■レポート1回（55%）：適用ルーブリック C1・E1・G1・I1 （評価の観点）授業内容の理解力、考察力、論理的な文章力をはかります。 （フィードバック方法）授業時間中に出題意図の説明を行います。	
履修条件	特にありません。	
履修上の注意点	世界の宗教・文化の問題に関心と学修意欲があること（毎回の授業に参加し、リアクションペーパーに取り組む意志があること）を求めます。なお、初回にシラバスの詳細を説明しますので必ず出席してください。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ 比較宗教・文化論を学ぶ意義 ②授業概要 シラバスの詳細について理解した上で（I1）、比較宗教・文化論を学ぶことの意義について考察できるようになる（E1）。 ③予習（120分） シラバスを熟読し、国際社会における危機（とくに民族や宗教に関連する諸問題）について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 授業内容をふりかえり、比較宗教・文化論を学ぶ意義についてさらに考察を深める。
	2	①授業テーマ 世界の宗教・文化（1）ユダヤ教 ②授業概要 ユダヤ教の宗教・文化に関する知識を修得した上で（I1）、その内容に関連する国際社会の危機を分析・考察し、国際的な相互理解の可能性を探究できるようになる（C1・E1・G1）。 ③予習（120分） ユダヤ教に関連する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） ユダヤ教およびそれに関連する諸問題について理解を深め、自らの分析と考察をさらに深める。
	3	①授業テーマ 世界の宗教・文化（2）キリスト教 ②授業概要 キリスト教の宗教・文化に関する知識を修得した上で（I1）、その内容に関連する国際社会の危機を分析・考察し、国際的な相互理解の可能性を探究できるようになる（C1・E1・G1）。 ③予習（120分） キリスト教に関連する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） キリスト教およびそれに関連する諸問題について理解を深め、自らの分析と考察をさらに深める。
	4	①授業テーマ 世界の宗教・文化（3）イスラーム（基礎） ②授業概要 イスラームの宗教・文化に関する基礎知識を修得した上で（I1）、その内容に関連する国際社会の危機を分析・考察し、国際的な相互理解の可能性を探究できるようになる（C1・E1・G1）。 ③予習（120分）

	イスラームに関連する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） イスラームおよびそれに関連する諸問題について理解を深め、自らの分析と考察をさらに深める。
5	①授業テーマ 世界の宗教・文化（4）イスラーム（発展） ②授業概要 イスラームの宗教・文化に関する発展的知識（とくに戦争・テロリズム等の問題に関連する知識）を修得した上で（I1）、その内容に関連する国際社会の危機を分析・考察し、国際的な相互理解の可能性を探究できるようになる（C1・E1・G1）。 ③予習（120分） イスラームに関する発展的知識（とくに戦争・テロリズム等の問題に関する知識）について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） イスラームに関する発展的知識（とくに戦争・テロリズム等の問題に関する知識）について理解を深め、自らの分析と考察をさらに深める。
6	①授業テーマ 世界の宗教・文化（5）仏教 ②授業概要 仏教の宗教・文化に関する知識を修得した上で（I1）、その内容に関連する国際社会の危機を分析・考察し、国際的な相互理解の可能性を探究できるようになる（C1・E1・G1）。 ③予習（120分） 仏教に関連する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 仏教およびそれに関連する諸問題について理解を深め、自らの分析と考察をさらに深める。
7	①授業テーマ 世界の宗教・文化（6）ヒンドゥー教 ②授業概要 ヒンドゥー教の宗教・文化に関する知識を修得した上で（I1）、その内容に関連する国際社会の危機を分析・考察し、国際的な相互理解の可能性を探究できるようになる（C1・E1・G1）。 ③予習（120分） ヒンドゥー教に関連する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） ヒンドゥー教およびそれに関連する諸問題について理解を深め、自らの分析と考察をさらに深める。
8	①授業テーマ 世界の宗教・文化（7）儒教 ②授業概要 儒教の宗教・文化に関する知識を修得した上で（I1）、その内容に関連する国際社会の危機を分析・考察し、国際的な相互理解の可能性を探究できるようになる（C1・E1・G1）。 ③予習（120分） 儒教に関連する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 儒教およびそれに関連する諸問題について理解を深め、自らの分析と考察をさらに深める。
9	①授業テーマ 世界の宗教・文化（8）道教 ②授業概要 道教の宗教・文化に関する知識を修得した上で（I1）、その内容に関連する国際社会の危機を分析・考察し、国際的な相互理解の可能性を探究できるようになる（C1・E1・G1）。 ③予習（120分） 道教に関連する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 道教およびそれに関連する諸問題について理解を深め、自らの分析と考察をさらに深める。
10	①授業テーマ 世界の宗教・文化（9）神道

	②授業概要 神道の宗教・文化に関する知識を修得した上で（I1）、その内容に関連する国際社会の危機を分析・考察し、国際的な相互理解の可能性を探究できるようになる（C1・E1・G1）。 ③予習（120分） 神道に関連する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 神道およびそれに関連する諸問題について理解を深め、自らの分析と考察をさらに深める。
11	①授業テーマ 世界の宗教・文化（10）茶道（日本文化） ②授業概要 茶道（日本文化）に関する知識を修得した上で（I1）、その内容に関連する問題を分析・考察し、国際的な相互理解の可能性を探究できるようになる（C1・E1・G1）。 ③予習（120分） 茶道（日本文化）に関連する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 茶道（日本文化）およびそれに関連する諸問題について理解を深め、自らの分析と考察をさらに深める。
12	①授業テーマ 「多文化主義」をめぐる議論 ②授業概要 多文化主義をめぐる議論に関する知識を修得した上で（I1）、その内容に関連する国際社会の危機を分析・考察し、他の学生と意見交換しながら、国際的な相互理解の可能性を探究できるようになる（C1・E1・G1）。 ③予習（120分） 多文化主義に関連する基礎知識について図書館等を活用して調べる。 ④復習（120分） 多文化主義およびそれに関連する諸問題について理解を深め、自らの分析と考察をさらに深める。
13	①授業テーマ 国際的な相互理解に向けて（1）小括 ②授業概要 今学期の授業内容に関する理解を深めた上で（I1）、国際的な危機に関する諸問題を分析・考察し、国際的な相互理解の可能性について探究できるようになる（C1・E1・G1）。 ③予習（120分） 授業内容の全体をふりかえり、自分の考察を深める。 ④復習（120分） この授業での学びをふりかえり、自分の考えをさらに深める。
14	①授業テーマ 国際的な相互理解に向けて（2）小括と理解度の確認 ②授業概要 今学期の学びをふりかえり、その要点をまとめるとともに、国際的な相互理解の可能性について、自分の考えを論理的に表現できるようになる（C1・E1・G1・I1）。授業中にまとめの授業とレポートを実施します（授業時間中に出題意図の説明を行います）。 ③予習（120分） 授業内容をふりかえり、自分の考察を深める。 ④復習（120分） 自分の考察結果についてふりかえり、比較宗教・文化論に関する知識とその理論的・実践的意義についてさらに自らの考えを深める。
15	①授業テーマ 総括 ②授業概要 今学期の学びをふりかえり、他の学生と意見交換（対話）した上で、自らの考えをさらに発展させることができるようになる（C1・E1・G1・I1）。 ③予習（120分） 授業内容をふりかえり、自分の考察を深める。 ④復習（120分） 自分の考察結果についてふりかえり、比較宗教・文化論に関する知識とその理論的・実践的意義についてさらに自らの考えを深める。

関連科目	国際政治学（RMGT3552）、国際法（RMGT3451）
教科書	授業時間内に資料を配付する。
参考書・参考URL	小杉泰・黒田賢治・二ツ山達朗（編）『大学生・社会人のためのイスラーム講座』（ナカニシヤ出版、2018年） その他については授業時間内に指示します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 金曜3限 メール等で事前にアポイントを取って下さい。場所はラーニングセンター（1号館2階）またはオンラインにて対応します。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント5%：パブリックセキュリティ5%：グローバルセキュリティ85%：情報セキュリティ5% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学90%：法学10%

